

日本マスキリング学会 投稿規程

投稿論文について

1. 日本マスキリング学会誌への投稿は、筆頭著者は日本マスキリング学会会員に限る。但し、総説、技術解説など編集委員会から特に依頼する原稿については、この限りではない。
2. 論文の投稿は、他雑誌（和文、外国語を問わず）に発表された論文、あるいは発表予定の論文の投稿ではないこと。また、他言語からの secondary publicationも対象としない。原稿の種別は、
 - 1) 原著：独創に富み、目的、方法、結論等の明確な研究論文。
 - 2) 症例報告：マスキリングに関連した臨床経験を簡潔にまとめた論文。
 - 3) 短報：主に独創的な方法論（開発、改良等）などを内容とする速報性の高い論文。
 - 4) 総説・技術解説等：総説は、編集委員会からの依頼によるもの（依頼総説）と投稿によるもの（原著総説）とに分ける。原著総説とは、過去に出版された論文をまとめることにより新しい概念を提案するもの、争点を整理し、今後の研究の方向性に示唆を与えるものとする。会員および特別講演者、海外からの講演者等で発表されたもの、または最近のトピック等について解説した論文とする。採否は編集委員会の査読を経て決定される。
3. 論文の採扱は、編集委員会の査読を経て決定される。採扱の決定された日を受理日とする。受理日以降は内容の変更（著者名の変更なども含む）は一切認めない。変更の必要な場合は、新規投稿扱いとなる。
4. ヒトを対象とした研究は「ヘルシンキ宣言」およびこれに準じた指針の規定を厳守すること。特にヒトを対象とする研究においては、患者等の匿名性を十分守ったうえ論文中にインフォームド・コンセントを得たこと、所属施設・機関等の倫理委員会・治験審査委員会等の承認を得た旨を記載すること。症例報告においても、必要に応じて同様に対応すること。
5. 利益相反（COI）に関しては、日本マスキリング学会の定める規定に則り、投稿時に有無について開示する。
6. 論文掲載は、「別表」に定める制限内の枚数は無料とし、それを超えるものは実費を著者が負担するものとする。但し、短報は制限内の枚数を厳守すること。但し、特に急いで掲載を希望する場合は、編集委員会の承認を得ることにより特別に掲載ができる。この場合は、特別掲載料を負担する。また、アート紙、カラー写真を希望する場合は、その費用を著者が負担する。なお、図、表は、各々1つにつき400字として換算する。
7. 別刷は30部を無料にて進呈する。ただし、それ以上の別刷を希望する場合は、出版社規定の部数にて料金を負担する。
8. 別表論文種別の文字数、図・表・写真・文献は以下の通りとする。

論文種別	和文字数（本文＋図＋表）	要旨（和文）	要旨（英文）
原 著	10,000字以内	600字以内	250word以内
症例報告	7,000字以内	600字以内	250word以内
短 報	5,000字以内	300字以内	250word以内
総説、技術解説	10,000字以内	600字以内	250word以内

9. 執筆上の基本的注意事項

- 1) 1ページ目は表紙として、表題、各々の著者の所属、著者全員の氏名、キーワード、連絡責任者の住所、所属、氏名、電話、FAX、E-mailアドレスを記載すること。
- 2) キーワードは5個以内とし、索引として役立つものを選ぶこと。略語はできるだけ使用しないこと。例えば「DBS」とせず「乾燥血液濾紙」とすること。また、外国語を用いる場合は適切な日本語がない場合に限る。
- 3) 2ページ目以後は、以下の順に作成すること。
 - ①要旨、②本文、③利益相反、④文献、⑤表、⑥図の説明、⑦図、⑧英文抄録（英文表題、英著者名と所属、英文要旨*）。
 - ① 要旨は別様とし、要旨のあとにキーワード（5個以内）をつける。
 - ② 本文は、緒言、(症例提示)、方法、結果、考察、(謝辞)の順に作成する。原稿は標準的なフォント（MS明朝、MSゴシック）を用いたMicrosoft社のWordでの作成を推奨する。
 - ③ 利益相反（COI）の表明方法：利益相反がない場合は、「日本マスキリーニング学会の定める利益相反に関する開示事項はありません。」と論文の末尾に記入する。
詳細は、日本マスキリーニング学会誌、第25巻（4号）2015年、P 93（335）別添資料2。を参照。
 - ④ 文献は別掲の記載方法に従う。12. を参照。
 - ⑤ 表は本文原稿とは別にファイルを作成する。標準的なフォント（MS明朝、MSゴシック）を用いたMicrosoft社のExcelあるいはWordでの作成を推奨する。
 - ⑥ 図、表、写真のタイトルおよびその説明は、原則として英文で作成する。
 - ⑦ 図はトレースしたものか、Powerpointでの作図を用いる。
 - ⑧ 英文抄録および英文図表を付けた投稿は、努力目標とする。提出された英文抄録については編集部、または編集委員会で英文のreviseを行い、編集をすることができる

*医師以外で英文要旨の作成が難しい場合は、編集部にご相談することができる。

10. 原稿について

- 1) 原稿は、A4判縦用紙に横書き。12ptの文字を使用し、1行35字、40行（1頁1,400字）として、上下左右に25mm以上の余白をあける。
本文は、ひらがな、カタカナは全角で入力する。「・」「:」「;」「()」「~」「%」「°C」「→」「=」「±」「×」「÷」なども全角で入力する。
読点は「,」（コンマ）ではなく「,」（テン）を、句点は「.」（ピリオド）ではなく「。」（マル）を用いること。
- 2) 現代かなづかい、常用漢字を用いること。
- 3) 表題には略語を用いないこと。ただし略語を使用したほうがわかりやすい場合は認められる。
- 4) 本文中に略語を用いる場合は、一般に使われているものに限る。その場合は初出の際に省略しない語を記載し括弧内に略語を示す。
- 5) 原則として外国人名は原語で、薬品名は一般名で記載する。
- 6) 英数字は半角文字を使う。
- 7) 論文記載内容、写真などについては、倫理上の配慮が求められる。
- 8) 投稿原稿は電子メールの添付ファイルで投稿すること。投稿して4日間以内に受取りの連絡がない場合は、編集委員会事務局まで連絡すること。
本誌に掲載された論文等の著作権は、日本マスキリーニング学会に帰属する。

11. 数字、数量の単位

- 1) 数字はアラビア数字を用い、整数は三桁ごとに「,」（コンマ）を記入し有効数字を考慮して記載すること。
- 2) 数量の単位は、km、m、cm、mm、 μm 、L、dL、mL、 μL 、kg、g、mg、 μg 、mEq/L、mg/dL、M、 μM 、nMなどを用いること。数字と単位との間は半角スペースを開けること。

12. 引用文献の記載方法

- 1) 文献は必要最小限にとどめること。
- 2) 記載順序は引用順とし、右肩に1)、2)、3) ……とアラビア数字を記入すること。
- 3) 発行年は西暦を用いること。
- 4) ページは通巻ページを用いること。
- 5) 文献の書き方は、次の形式にする。
 - ① 雑誌の場合：著者名：表題、雑誌名。巻数：最初ページ～最終ページ。年号（西暦）。
著者名は、6人以下は全員、7人以上は筆頭および主要な著者の計3名を記載し、「, 他」あるいは英語文献では「, et al」をつける。
<例1>
原田正平, 市原 侃, 新井純理, 本間 寛, 松浦信夫, 藤枝憲二：甲状腺刺激ホルモン値を指標としたクレチン症マスキングの精密検査基準値の全国調査。日本マスキング学会誌 4: 51-59, 1994。
<例2>
Kuzuya H, Matsuura N, Sakamoto M, et al: Trial of insulinlike growth factor 1 therapy for patients with extreme insulin resistant syndromes. Diabetes 42: 696-705, 1993.
 - ② 単行本の場合：著者：タイトル, 単行本書名, (編集者名), 版数：発行社, 都市, 発行年, 該当ページ (P○-○.)
 - ③ 分担執筆による単行本の中の分担部分の引用の場合：著者名：分担執筆部分の表題, 編集者名, 書名, 版数, 発行社の所在地名：発行社。発行年：分担部分の最初のページ～最後のページ。
<例1>
松浦信夫：I型糖尿病の病因に関する最近の知見。糖尿病学の進歩'94 (日本糖尿病学会編), 診断と治療社, 東京, 1989, P195-204。
<例2>
Matsuura N, Harada S: Iodine excess and thyroid autoimmunity. Iodine deficiency in Europe F Delange, JT Dunn, D Glinoe, edited, Plenum Press, New York, 1993, P93-99.

13. 校正

- 1) 著者校正は原則1回のみとする。初校校正以後の誤りは著者の責任となるため注意深く校正すること。
- 2) 校正では、字句の誤りのみを訂正すること。内容にかかわる変更、著者の変更、キーワードの変更等は、原則として認めない。
- 3) 正誤表は、刷上りの論文が著者の校正と異なる場合のみこれを作成する。

付記 査読の迅速化のため以下の点を順守すること

- 1) 査読後の再投稿時は、査読者の指摘一つずつに対し、回答および修正したところを一对一の対応で記載した文書（査読返信レター）を添付すること。査読者の指摘以外の部分に変更を加える場合にもその理由、変更箇所をこの文書に明示すること。
- 2) 再投稿用の原稿を作成する際は、変更箇所が一目で分かるように、見え消し線、下線、赤字などを用いて、修正部分を明示したものを再投稿すること。（Microsoft Wordの変更履歴機能は使用不可）

改訂 令和3年9月17日

原稿投稿先

〒545-8585 大阪市大阿倍野区旭町1-4-3
大阪公立大学医学部小児科内
日本マスキング学会
編集委員会事務局 宛
TEL：06-6645-3816、3818
FAX：06-6636-8737
E-mail：jjns.osaka@gmail.com